

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コロレ東川		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども主体の活動プログラムの中で、皆が気持ちよく過ごすためのルールを大人と一緒に考えたり、小1～高校3までの幅広い年齢の子供達と一緒に過ごす事で子ども達が共に育ちあう環境がある。	大人と一緒に決めたルールを守る事で気持ちよく過せ、喧嘩の回避に繋げている。トラブルの際に大人だけでなく高学年が低学年を注意したり仲裁に入る環境が代々的に出来てきており、子ども同士での解決を見守る事がある。低学年を可愛がる姿を見て自分がその立場になった時に思い出せるよう促す。	子ども主体の活動なので準備が急で追いつかない事がある為先を見越した準備が必要。自分のルールを相手に押し付けてしまう事も多い為、遊ぶ前に約束事を決めるよう心掛けている。
2	「大きな家族」を目指し、保護者さんとの関係性を深め信頼関係を築き、子ども達、職員同士が温かく時に厳しく…垣根のない関係がある。	子ども達の様子をごまめにお伝えしたり写真を送ったり情報の共有をしている。連絡を密に取る事で相談しやすい環境作り心掛けています。保護者さんと相談しながら良くない事に対しては厳しく接することもある。	HPでの情報更新が遅れており、日々の様子について更新する事が今年度の目標。積極的に活用してゆく。
3	職員間で支援に対するの振り返りや意見交換がしっかりなされている。	ミーティング時に限らず、時間を見つけ子ども達との関わりで気になる事や個々が考えている事を話せるような環境作り。	パート職員さんへの伝達が一斉にできない事があり工夫が必要。現在はミーティング議事録を全員に目を通してもらっているが、定期的にパート職員さんからの意見の拾い上げが必要。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の中で「自由」が多いがために自分中心になりがち。何でも自由になると思ってしまうと自分勝手になったり統制が取れなくなり全体的に落ち着かなくなる。	特性から「学校」という枠がある時はその中で何とか頑張るが枠が外れた際に「自由」なら何でもやって良い、全て自分の思い通りに…と考えがち。他児の言葉を聞かず自己主張が強くなる。	「自由」とは「何でもあり」ではない事を伝え子ども達と一緒に話し合い、遊ぶ前にルールやマナーを伝え意識させる。
2	ベアトレを含む外部の研修が足りていない。	来諸児と職員配置の問題が大きく長時間デイを空けることが難しい。	オンライン講座等を利用し、デイ内でも研修を受けられるようにする。パートさんにも研修を受けてもらえるよう推奨してゆく。
3	PDCAサイクルは行われているが、各自に認識が足りていない。それぞれの子に対するPDCAを明確にする。	自然に行われてきたが、それがPDCAサイクルだという認識がない、説明不足の部分がある。	特に日常的に長時間相談をする時間を取りにくいパート職員さんとは個別で時間を取り説明したり意識してもらわなければならない。